



口 絵 『三井文庫論叢』最初の口絵の原稿

『三井文庫論叢』（以下、論叢）の発行は、三井文庫設立当初からの課題だった。論叢は文庫設立から二年弱、資料公開業務の開始から一年有余の昭和四十二年（一九六七）三月に創刊された。論叢の巻頭口絵は第二号から始まり、以後本号まで途切れることなく続いている。ここで紹介するのは第二号掲載の「三都越後屋本店絵図」の原稿である。解説文執筆者は山口栄蔵。山口は旧三井文庫以来の職員で、戦後財団法人三井文庫の設立に携わり、設立後は研究員となる。

（下向井紀彦）